

## あっという間の1学期！



中堅学年として2年生がスタートした4月から、約4ヶ月。1学期が今日で終了しました。後輩ができ、先輩として張り切っていた4月、トライやる・ウィークに向けての準備やマナー講座に取り組んだ5月、トライやる・ウィークで貴重な体験をし、教育実習の正元先生と過ごした6月、そして、暑さが厳しくなる中、総体や1学期の締めくくりに汗を流した7月。あっという間の1学期でした。

去年1年間で学校生活に慣れたため、週番活動や掃除などはスムーズに進めることができましたが、慣れたゆえに、いい加減さも出てきて、週番のやり直しをする班があったのが残念でした。

授業では、挙手・発表に挑戦する人も増え、活気ある授業ができました。盛り上がるのはいいのですが、一度話し出すと止まらなくなったり、集中できないこともありました。2年生になり、学習も難しくなっているので、もっと授業を大切にしてほしいと思います。

また、学年目標にある“可能性への挑戦”ができた人も増えました。やったことのない係や委員会の仕事に挑戦した人や、授業中の発表をがんばった人もいました。何事も最初は不安でも、やってみると何でもなかったり、挑戦することで自信がついていきます。そして何より、トライやる・ウィークを通して、学校では学べない体験をし、仕事の楽しさだけでなく社会の厳しさを学び、自分の将来の生き方を見つめた1学期だったのではないのでしょうか。

丹有総体も終わり、運動部は2年生を中心とした新チームがスタートしています。2学期になれば、体育大会・文化祭の2大イベントがあり、2学期の終わりには生徒会選挙があります。3年生からバトンを受け継ぎ、これから今田中学校を引っ張っていく準備期間に入っていきます。先輩たちや先生方に言われて動くのではなく、自分たちで考え、自分たちがリードしていく力をつけていかなくてはなりません。夏休みも、さまざまなことに積極的に挑戦し、9月にはひとまわりもふたまわりも成長した姿を見せてください！



## 自分自身の学習を見直そう！ ～通知表の見方、再確認！

通知表をもらって、みんなが一番気になるのは各教科の評定（5段階評価）でしょう。しかし、評定の数字だけで満足したり落ち込んだりしないようにしてほしいです。通知表の成績はテストの点だけでつけられているわけではありません。授業態度や提出物の状況も含め、各教科4～5つの観点を総合してつけています。それぞれの観点は、A、B、Cの3段階で評価しています。Aがついているところは、自分がかんがっているところですが、Cは努力が必要な点です。CをBやAに、BをAにしていくことが、評定をあげることにつながります。特に、各教科の一つ目の観点は、関心・意欲・態度です。この観点は、少し意識を変え、やる気を持って取り組むことで、すぐにAにできる観点なので、授業態度や提出物、発表などをもう一度振り返り、2学期につなげましょう。

